

札幌北ロータリークラブ会報



2022-23年度スローガン
「今一度、人生の目的を考えてみる」
～当たり前ではない平和に感謝して～

2023年2月27日(月)12:30 第2284回例会

本日のプログラム

クラブ奉仕委員会 プログラム担当
新会員卓話 吉田美穂会員・渡辺亮会員

会員誕生日祝

2/28 栗原 清昭 会員
3/5 渡邊 靖司 会員

入会記念日祝

おりません

♪「奉仕の理想」

前回例会記録 2283回 2月13日(月)12:30



米山記念奨学委員会
大西 勲 委員長

【司 会】 蓑輪 隆宏 会長
【ビジター】 おりません
【ゲスト】 日下 健三 様(富良野RC)

2/13 出席報告

| 会員数 | 出席 | 欠席 | 除外 | MU | % |
|-----|----|----|----|-----|----|
| 37 | 28 | 9 | 0 | --- | 76 |

会長報告

■食事が本日からシンプルな単品メニューも加わります。ちなみに第一回目の今日はロイトン札幌特製オムライスでございます。どうぞお楽しみください。

委員会報告

- ◆クラブ情報 雑誌担当(真室副委員長)・・・ロータリーの友2月号：見どころ読みどころのご紹介
- ◆真室潤一カウンセラー・・・米山奨学生 代書芸さんからの近況報告
- ◆クラブ奉仕委員会プログラム担当(栗原副委員長)・・・2/27 例会について



ニコニコBOX

- ☺ **星田英治会員**：息子がオーストラリアに修学旅行へ行きました。円安で航空会社が変わり、直行便から乗継便になり宿泊日数も1日短くなりました。かわいそうだと思いましたが、3年ぶりの修学旅行です。行けるだけで感謝です。ふつうであること、いれることに感謝することを忘れていました。
- ☺ **大西勲会員**：小林博先生から「落ち葉のつぶやき」の冊子をいただき7割方読みました。本日卓話をさせていただきます。

- ☺ **瀧澤隆之介会員**：2月3日、札幌弁護士会副会長に正式に当選いたしました。令和6年3月31日までは、弁護士会の仕事に追われて、皆様にはご迷惑をおかけする、あるいは既におかけしていることかと思いますが、ロータリー活動で学んだことを生かして頑張りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。
- ☺ **出村知佳子会員**：本日の大西委員長、真室地区委員の卓話を楽しみにしています。
- ☺ **栗原清昭会員**：前回の例会は体調を崩しお休みしたので、久しぶりに皆さんの顔を見ることができてニコニコです。
- ☺ **草間孝廣会員**：先日、小林パストガバナーよりご高著を賜りました。実感のこもります、小林先生の社会情勢への所感や「がん」への対処など、いつもいつも勉強させて頂いております。心から感謝を申し上げまして、ニコニコです。
- ☺ **蓑輪隆宏会員**：本日は米山記念奨学担当ですが、大西委員長、真室地区委員、どうぞ宜しくお願い致します。
- ☺ **林里紅会員**：本日は、大西委員長、真室地区委員の卓話楽しみにしております。宜しくお願い致します。



米山記念奨学会について

米山記念奨学委員会
大西 勲 委員長

1. ロータリー米山記念奨学会（以下、米山記念奨学会）とは

米山記念奨学会は、初めて日本にロータリークラブを創設した米山梅吉翁の遺徳を記念し設立されたもので、日本に在留している私費外国人留学生に対して給付型奨学金を支給し支援する民間の奨学団体である。全世界の国・地域を対象とし奨学生の母国と日本の親善友好を図り、ひいては世界の平和に貢献することを目的としている。最大の特徴は「世話クラブ・カウンセラー制度」である。世話クラブから選ばれたカウンセラーは、奨学生の相談役として、精神面を支える。また奨学生が例会に参加したり、ともに奉仕活動や地域のイベントを体験することにより、互いの理解と親睦を図る。

<設立趣意書>

この法人は、主としてアジア諸国、又はその他のロータリー所在国の学生または学者に対し、我が国において勉強または研究するための奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親睦に寄与することを目的として設立された。

2. ロータリー米山記念奨学事業とは

ロータリー米山記念事業とは、全国のロータリーアンからの寄付を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業である。

<事業の使命>

将来、日本と世界を結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリーのよき理解者となる人材を育成することにある。これは、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものである。

<60年以上にわたって受け継がれている事業>

日本のロータリーの創始者、故・米山梅吉翁の偉業を記念し後世に残るような有益な事業を立ち上げたいとの思いがあった。1952年、東京ロータリークラブが発表したのは、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業「米山基金」の構想であった。そこには、二度と戦争の

悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという、当時のロータリアンの強い願いがあった。

「将来の日本の生きる道は、平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業でないだろうか。」（「ロータリー米山記念奨学会史」より）

3. ロータリー米山記念奨学会のあゆみ（抜粋）

- 昭和21年 米山梅吉氏逝去
- 昭和27年 東京 RC が米山奨学制度を設立
- 昭和28年 「米山基金」の募集開始
- 昭和29年 奨学生第1号のソムチャード氏がタイより来日
- 昭和32年 国内全 RC の合同事業として、財団法人化を前提とした「ロータリー米山奨学委員会」を結成
- 昭和34年 世話クラブ設置
- 昭和42年 文部省の許可を得て「財団法人ロータリー米山記念奨学会」設立。年間奨学生6ヶ国59名に達する。
- 昭和46年 カウンセラー制度設置
- 昭和47年 米山功労者制度の制定
- 昭和53年 特別寄付金への免税措置の認可を得る。
- 平成24年 「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」となる。



米山記念奨学会への寄付は 寄付金控除の対象です

ロータリー米山記念奨学会は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当会への寄付は①所得税②法人税の税制優遇が受けられます。③相続税も非課税となります。

「税額控除」も選ぶことができます。

従来の「所得控除」に加えて「税額控除」のいずれか有利な方式を選択いただくことができます。

普通寄付金分も申告用領収証を発行します。

クラブからの申請が必要です。



地区米山記念奨学委員会の活動

真室 潤一 米山地区委員

米山記念奨学会・学友委員会でお仕えさせていただいてます、真室です。

今回大西委員長より米山についての卓話をお願いされましたが、米山のことについては、皆様の方が詳しいと思いますので、今日は私が地区米山でどのような活動をしているのかをお話したいと思います。

その前に、米山記念奨学会に入会したきっかけなんです。昨年度の幹事である鈴木隆也会員から"真室"さん米山って言うところがあるんだけど、行ってみないですか？と言うお声掛けをいただきました。私は"待ってました"とは思いませんでしたが、はいとお引き受けいたしました。それが地区米山とのきっかけになりました。

通常、ロータリー事業は新年度、7月からの活動になりますが、米山では奨学生を迎える都合で3月からのスタートとなります。昨年3月11日に初顔合わせ(オリエンテーション)を東急Reiホテルで行いました。当クラブにも奨学生、代書芸さんを迎えることになりましたので、カウンセラーと言うお役目もいただき、3月20日京王プラザホテルにてカウンセラー研修、翌週の3月27日に同じく、京王プラザホテルで修了式に出席致しました。カウンセラー研修では、カウンセラーの役割やハラスメントの認識、危機管理などの教育を受けました。

2510地区米山記念奨学会には、入井委員長を筆頭に総勢15名15クラブが所属しております。

その中で世話クラブとなっておりますのが、はまなす、札幌西、札幌モーニング、札幌南、新札幌、小樽南、札幌幌南、江別、岩見沢、恵庭、千歳、室蘭北、函館、函館五稜郭、そして当札幌北クラブの15クラブとなります。

2022-2023年度で受け入れた奨学生は新規で13名継続で4名の計17名となります。

続いて、7月9日に第一回地区米山委員会があり、今年度の方針の発表がありました。

9月23、24泊2日で予定されておりました宿泊研修は、月形の樺戸博物館を見学して、昼は松尾ジンギスカンで昼食をとり、グリーンパークに宿泊の予定でしたが、コロナの影響で中止となりました。この時期感染は下降気味だったんですが、学校側の強い要望があったとのことです。

ちなみに今年は必ずやりますと入井委員長はおっしゃっておりました。

11月3日にはガバナー事務所で面接官オリエンテーションが行われました。次年度の奨学生を面接する面接官は、このオリエンテーションを受けなければならず、なぜか私も面接官に選ばれておりました。そして12月11日曜日、面接の日がやって参りました。場所はこのロイトン札幌さん2階のハイネスホールで行われ、AグループBグループ2班で行い、各グループ5名ずつの面接官で面接いたしました。私はBグループで出村知佳子ガバナーノミニーと他3名で行いました。応募された奨学生は23名でしたが、当日1名欠席で22名となりました。Aグループ、Bグループ質問を統一し、テーマをあらかじめ決め、面接官に2分の質問時間が与えられました。

質問するテーマは

- ①交流と親善への熱意
- ②日本留学の目的と明確な研究課題、もしくは将来の目標
- ③人間性、人柄
- ④コミュニケーション能力
- ⑤タイムキーパーの方が不足している質問

この5項目で各5点、25点満点で評価を行い、点数の高い順での決定となりました。22名の応募に対して、2510地区は13名の新規採用となりました。本当に皆さん優秀な方ばかりで、採点するのに悩みました。私が面接官になる前に、私を面接して欲しかった位です。

2023-2024年度の奨学生は新規で13名、海外応募1名、継続4名の計18名となっておりますが、恵庭に在籍していた奨学生が辞退したため17名となりました。

現在、世話クラブは当札幌北クラブを含め15クラブあり、2019-2020年度に発足している、サブ世話クラブの応募も積極的に行っております。2510地区では、69クラブで奨学生17名がおり、サブ世話クラブは、8クラブが上限となってるみたいですが、現在サブクラブの候補は、静内、栗山、江差、えりも、羽幌、由仁の6クラブで、静内と栗山は決定いたしました。残りのサブ世話クラブの決定は2月28日までに決定するとのことです。皆様にお配りした紙が2023-2024年度の米山記念奨学会・学習院回の授業予定表になります。あまりやることがないから、と聞かされて入った地区米山ですが、入会してやることの多さにびっくりです。

しかしながら、他のクラブの方との交流を図って
いなかった私にとって、他クラブのロータリアン
との交流は、とても刺激的なものとなりました。

これからも、当委員会での活動を一層取り組んで
まいりたいと思います。

最後に、米山記念奨学会・学友委員会はロータリー
アンの寄付で成り立っており、これからも皆様の
温かいご支援をお願いするとともに、私自身へ
のご指導も賜りたいと存じます。

本日は貴重なお時間をいただきありがとうございました。

ご連絡

小林博会員より「落ち葉のつづやき」を
頂きました。事務局
に数冊ございますの
で、ご覧になりたい
方は事務局までご連絡
ください。



会務報告

①次週 2月20日はお休みです。②次回例会は2月27日クラブ奉仕委員会プログラム担当例会です。皆様
ご出席の程、宜しくお願い致します。

北クラブ情報

例会日 毎週月曜日 12:30

例会場 ロイトン札幌



札幌北RCホームページ

<http://www.sapporo-north.jp/>

- * 3月6日(月) 【R財団】グローバル奨学生 朝倉利晃様 卓話
- * 3月13日(月) 【青少年奉仕】にじ色子ども食堂 安田香織様 卓話
- * 3月20日(月) **休会(春分の日のお休みのため)**
- * 3月27日(月) 【国際奉仕】タイ検証ツアー報告

他クラブ予定表

28日(火)

札幌西 SDGsについて エシカルタイム 村上彩子氏
はまなす 定例夜間例会
札幌清田 街歩き研究家 和田哲氏 ゲスト卓話
大通公園 未定

2日(木)

札幌東 新会員卓話 渡辺健太会員
札幌西北 会員卓話「労務管理について」

4日(土)

札幌手稲 高校奨学生 報告会

3月1日(水)

モーニング 会員卓話「19-20 青少年交換年次報告について」
札幌 ゲスト卓話「ジャパニースウイスキーの歴史」
真駒内 会員卓話「盗撮罪」山田廣会員 卓話
新札幌 米山奨学生 ダークリストマルバクララさん卓話

3日(金)

札幌幌南 松下降起選手 卓話

6日(月)

札幌南 田尾大樹プログラム副委員長 卓話

※予定は変更になる可能性があります。また、ビジターで他クラブへ行かれる際はご連絡が必要な場合があります。※